

1 . 調 査 報 告 概 要 表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成 1 9 年 1 1 月 7 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 4 0 0 2 1 7 0
法人名	有限会社 岸本総合企画
事業所名	グループホームアミティ豊中
所在地	豊中市蛍池南町 3 - 8 - 1 (電 話) 0 6 - 6 8 5 2 - 1 5 8 0
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 1 9 年 1 0 月 1 5 日

【情報提供票より】(平成 1 9 年 9 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 1月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤 12人, 非常勤 4人, 常勤換算	13.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	4 階建ての	1 階 ~	4 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	6 2 , 0 0 0 円	その他の経費 (月額)	約 2 5 , 0 0 0 円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (5 0 0 , 0 0 0 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または 1 日当たり 1 , 2 0 0 円		

(4) 利用者の概要 (平成 1 9 年 9 月 1 日現在)

利用者人数	1 8 名	男性	6 名	女性	1 2 名
要介護 1	3 名	要介護 2	4 名		
要介護 3	7 名	要介護 4	2 名		
要介護 5	2 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 8 4 . 2 歳	最低	9 3 歳	最高	7 3 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	木村医院、緑ヶ丘病院、黒木歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営者は同地域住民で自治会に加入しており、町会長や公民館館長等とも交流があります。高齢化が進み、両親や親戚、近所の方々からの老後も安心して住める場所が欲しいという要望のもと、信頼されるグループホームを目指して 4 年前に開設しました。小学校の横に建てられたホームで日当たりが良く、子どもたちの声が良く聞こえ、活気が感じられます。「その人らしさを大切に、住み慣れた街で仲良くゆったり豊かに楽しい生活を」を理念として取り組んでいます。また、利用者ができる限り自立した生活を送れるよう心がけています。1 階の多目的室を活用し、近隣の高齢者がお茶を飲み立ち寄りしてもらえるよう計画中です。地域住民から介護サービスについての相談に応じ、情報提供しています。季節の行事を大切に、お花見や屋上でのバーベキューを実施し、また運動会の練習風景を見学するなど楽しんでいます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4)
	服薬の内容や副作用については、個別のノートを作成して全職員が内容を把握できるよう工夫しています。服薬確認はダブルチェックすることにし、マニュアル化しています。調理については、食材を配送してもらえるようにし、週に何回かは半調理食材を利用し、食事作りに追われないような工夫をしています。研修については、年間計画を立てて、職員が受講できるよう配慮しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4)
重点項目②	自己評価は管理者、介護支援専門員、職員が集まって協議し作成して、全職員にも伝達しています。外部評価結果は、要改善点について話し合い改善に向けて取り組んでいます。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6)
重点項目③	運営推進会議の趣旨や目的、施設の概要、施設の説明、運営方針、利用者に状況や主な行事と展望の報告がされています。会議席上の提案により、ホームの広報誌を町内会の広報の 1 コーナーで紹介することを検討しています。また、地域の方が気軽にお茶等を飲みに来られるよう談話室が整備されました。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8)
重点項目④	玄関脇に『どなたでもお入りください』との表示があり、管理者やケアマネジャーが常時対応しています。介護保険とはどうなのか、近所に一人暮らしの高齢者がいるがどうしたら良いか、入居できるのか、認知症とはどういう状態か等々、地域の人からの相談に応じています。家族の電話相談も多く、きちんと対応して、例えば長時間になっても納得されるまで話を聞いています。
	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3)
重点項目⑤	地域と家族と共に支えるケアを実施するということで、近隣の小学校の夏祭りや運動会に参加したり、だんじり祭りを玄関前で見せてもらったり、小学生が社会見学として訪問し、一緒に歌うなどして楽しんでいます。管理者は、行事の時には地域の係員として参加し協力しています。地域の老人会の旅行には職員がボランティアで参加し、いろいろな相談に応じています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念が作り上げられています。 「その人らしさを大切に、住み慣れた街で仲 良くゆったり、豊かに楽しい生活」という理 念のもと、住み慣れた地域で、その人らしく 穏やかな生活を提供していくことを目指して います。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念が明文化され、施設の正面玄関の目に付 きやすい場所に墨字で額に入れて明示してい ます。職員には日々業務の中で確認し、新任 研修時には説明、周知するよう伝えています。 理念の意味についても全員で話し合い、その 実現に取り組んでいます。パンフレットにも 明示されています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	代表者は地域に居住しており、近隣とも交流 があり、自治会にも入会しています。近隣の 小学校の運動会を観戦したり、だんじり祭り の時にはみんなで玄関に出て観賞、小学生が 社会勉強のため月 1 回訪問したり、学童保育 の子供たちが歌を歌ったりゲームをしたりし て、触れ合いの機会があります。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長、管理者、職員は評価の意義や目的を共有し、それを活かす内容について取り組んでいます。自己評価票も作成してケアの実践を振り返り、環境整備の見直しなど改善点にも取り組んでいます。外部評価の結果は来訪者にも提示しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の規定、規約を作成し、会議録で出席者が確認できます。会議での提案によって茶会、カラオケなどのクラブ活動も始めています。また、事業所の取り組みの内容や改善課題を職員間でも話し合っています。運営推進会議は19年2月に1度開催されましたが、その後は開催されていません。	○	運営推進会議は、運営基準でもおおむね2ヶ月ごとに開催することが求められています。また今後は、事業所を理解してもらう機会として積極的に活用されることが望まれます。
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村には日ごろから相談できる窓口を確保しています。子ども110番の家や市民救命センターなど市内の介護相談の拠点として協力しています。市の事業者連絡会には年4～5回参加しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回『アミティ通信』を発行し、利用者の生活状況、健康状態について報告し、写真を添付しています。また家族の訪問時にも近況を伝えると共に、きめ細かな要望についても相談に乗っています。金銭管理についても月1回請求書と共に出納帳を送付して、確認してもらっています。遠方の家族や訪問の少ない家族へは、出納帳に日付とサインをもらえるような配慮が望まれます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月介護相談員が来訪し、利用者の相談や苦情を聞きとっています。家族の訪問時にゆっくり相談に乗っていることが、記録にも残されています。また、相談、苦情解決の第三者窓口を紹介しています。投書箱の設置を検討中とのことであり、今後に期待します。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努めています。新しい職員が入る時は業務マニュアルを作成し、スムーズに業務に慣れるように工夫しています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことで、今後とも異動を最小限にすることが期待されます。職員の異動時には「おたより」にて報告したり、家族の訪問時に報告しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修ともに参加する機会を設けています。年間のおおよその計画も立てられていて、年3回の感染症、認知症、救急時対応をはじめ、セラピーやバリデーション(認知症の方とのコミュニケーション技法)などの外部研修など積極的に取り組んでいます。新人研修についてはマニュアルを作成し、活用しています。また研修報告書も提出し、職員間で情報を共有しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は全国認知症グループホーム協会に加入しています。その他豊中市事業者連絡会にも参加し、情報交換をしています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族にホームの見学に来てもらったり、本人の家庭を訪問したり、入院先や入所先へ訪問し、面接をしています。今後は多目的室を利用してお茶会を実施し、入居前のなじみの関係作りを行っていく計画があります。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	書道の得意な方にはホームの表札を書いてもらったり、百人一首を読むのが得意な方には読み手をお願いしたり、茶道の手ほどきをしてもらったり、料理の味加減や盛り付けを教わったり、個々の得意な事を生かして、利用者から学んでいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で、利用者の思いや意向の把握に努めています。利用者の言葉や表情から読み取ったり、確認したりしています。意思疎通の困難な方には、家族や関係者から情報を得て、入居に至るまでをケース記録に記述をしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	毎月1回ケアプラン会議を開催し、現場職員の意見を取り入れて介護計画を作成しています。医療的な問題がある方については家族、主治医や他の病院との連携を図って作成しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については3ヶ月ごとにケアプランを見直しています。目標についての日々の記録や週ごとのモニタリング、月1回の会議での話し合い、利用者の状態の変化や状況、家族や利用者の要望に応じて計画を見直しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の通院時には、家族の都合や要望によって、職員や管理者が付き添っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望し、かかりつけ医に受診できるよう支援しています。また、遠方への受診時には家族と共に職員も同行することもあります。近隣の医療機関とは定期的な往診機会もあり、緊急時対応も体制が整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	基本的には病院に搬送する時期について、家族と話し合いホーム内で共有しています。最近、老衰による終末期の看取りを経験しました。看取りのあと、職員にアンケートを記入してもらい、課題も見つかりました。今後は医療関係者や職員を交えて、終末期の具体的なあり方について検討をする方針です。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際にプライバシーに関する意識の向上を図り、また日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。誇りやプライバシーには注意を払っています。また職員の言葉使いも丁寧です。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課は決まっていますが、利用者の日々の体調や希望に合わせて過ごせるように支援しています。できるだけ個別性に配慮した支援を行っています。巡回図書を利用し、本を借りてクイズに取り組んだり、週1回の手芸クラブでも能力を発揮して楽しんだりしています。自分らしさを重視した支援を行っています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は3食ともホームで調理し、できたての食事を提供しています。利用者の中には、味付けや盛り付けが得意な方や、配膳や下膳、食卓拭きに参加する方がおり、職員は教わりながら、共に楽しんでいます。また職員は利用者と一緒と同じ食事を摂っています。お箸や茶碗、コップ等は、利用者の馴染みの物を使用しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については毎日沸かしていますが、利用者の意向に添って、男性の入浴日と女性の入浴日を分けています。週3回を予定していますが、拒否される方が多く、気の合った利用者に声かけをしてもらうなど工夫をしています。入浴後は良かったと満足されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	多目的室で週1回お茶を点てる方や、料理屋で働いていた方には行儀作法を習ったり、配膳の仕方「お味噌汁は右側よ」と教えてもらったりしています。内装工事をされていた方には掃除の仕方を教えてもらうなど、利用者一人ひとり役割をもった生活を支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月1度は外出し、回転すしなど外食を楽しんでいます。天候が良ければ週1回は散歩に出かけています。公園やお地藏様にまで出かけたり、お店におやつを買いに行ったりしています。家族と共に外食される方もいます。夏は暑さの為に機会が少なかったのですが、屋上でバーベキューをしたり、運動会の練習を見学したりする等して、外の空気に触れています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニット間やエレベーターは施錠されていません。交通量の多い道路に面している玄関のみ職員の少ない時間帯に施錠されています。しかし、鍵は3ケタの数字で開錠するため、家族や利用者に閉塞感はありません。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策委員会を設けており、マニュアルも作成しています。避難訓練も実施し、消防署の講習会にも参加しており、全職員の周知に努めています。非常災害時用の備蓄も確保されていますが、今後は3日分を目安に備蓄を補充することを期待します。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの栄養摂取量や水分摂取量を把握しています。また栄養バランスについては食材購入先の管理栄養士によるカロリー計算表を参考にしています。水分の補給については、嚥下の困難な方にはとろみをつけたり、ゼリー状にして対応しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全室バリアフリーとなっています。廊下には手すりが設置され、トイレは車椅子対応になっており中は広々としています。失禁時のシャワーも可能な設備があります。また、食堂はオープンキッチンとなっており、料理する音や匂いを感じることができます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は個性豊かに飾られている方や整理されて必要なものだけの方など好みによって様々でした。居室にはクローゼットと洗面所が設置されています。ホームからはベッドが準備されており、その他にテレビやたんす、仏壇、お茶の道具、家族の写真や絵画等、様々な好みの品物については、各自で持参されていました。個室内では落ち着いた雰囲気です。		